

## 土壌汚染対策について

### 空気調査及び地下水質調査

- ・豊洲市場では、市場業務を行う地上部の安全を確認するため、定期的に空気調査及び地下水質調査を実施
- ・令和5年5月までに測定した空気調査及び地下水質調査の結果について、令和5年6月29日に、令和5年8月までに測定した結果について、令和5年9月28日に専門家の評価を付して公表

### 1 調査の概要及び調査結果

#### (1) 空気調査

##### ア 調査の概要

建物1階（5か所）、屋外（4か所）、地下ピット（10か所）の19か所で、ベンゼン、シアン、水銀を毎月測定

##### イ 採取日

令和5年5月13日～14日、令和5年8月19～20日

##### ウ 調査結果

調査物質	基準値等	単位	調査時期	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	0.003 (1年平均値)	mg/m <sup>3</sup>	5月	0.0012 <sup>※1</sup> ～0.0013 <sup>※1</sup>	0.0012 <sup>※1</sup>	0.0008 <sup>※1</sup> ～0.0011 <sup>※1</sup>
			8月	0.0010 <sup>※2</sup> ～0.0012 <sup>※2</sup>	0.0010 <sup>※2</sup> ～0.0011 <sup>※2</sup>	0.0007 <sup>※2</sup> ～0.0011 <sup>※2</sup>
シアン	0.003	mg/m <sup>3</sup>	5月	不検出	不検出	不検出
			8月	不検出	不検出	不検出
水銀	0.04 (1年平均値)	μg/m <sup>3</sup>	5月	不検出	不検出	不検出
			8月	不検出	不検出	不検出

※1は令和4年6月～令和5年5月、※2は令和4年9月～令和5年8月測定値の平均値。それぞれ不検出の場合は定量下限値として算出。

#### (2) 地下水質調査

##### ア 調査の概要

調査物質の濃度が高い箇所を中心に選定した濃度確認用観測井戸（28か所）、街区全体のバランスを考慮し選定した全体確認用観測井戸（17か所）の45か所で、ベンゼン、シアン、ヒ素を3か月ごとに測定

##### イ 採取日

令和5年5月10日～17日、令和5年8月8日～23日

##### ウ 調査結果

調査物質	基準値	単位	調査時期	濃度確認	全体確認
ベンゼン	0.01	mg/L	5月	不検出～0.90	不検出～0.087
			8月	不検出～0.87	不検出～0.092
シアン	検出されないこと (定量下限値:0.1mg/L未満)	mg/L	5月	不検出～1.1	不検出～0.6
			8月	不検出～1.0	不検出～0.6
ヒ素	0.01	mg/L	5月	0.005～0.045	0.002～0.082
			8月	0.004～0.035	0.002～0.054

## 2 専門家の評価（9月28日公表時）

### （1）空気調査結果について

建物1階、屋外、地下ピット内のいずれの空気についても、大気環境基準等に適合していることが確認できる。

### （2）地下水質調査結果について

令和5年5月の調査結果（6月29日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

### （3）空気・地下水質調査結果に基づく評価

- ・豊洲市場の地下水は、箇所により濃度が異なっている一方、空気中のベンゼン濃度は、建物1階、屋外、地下ピット内で同程度であり、地下水の濃度変動は空気測定結果に影響を与えていないものと考えられる。
- ・豊洲市場の空気は、継続して大気環境基準等に適合しており、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

## 3 今後の対応

今後とも空気調査、地下水質調査によるモニタリングを継続するとともに、これまでの調査によって蓄積した数値をもとに分析を行い、正確な情報をわかりやすく公表していくことで、豊洲市場を安全・安心な市場として運営していく。